

2025年3月10日

株式会社南紀白浜エアポート
東邦レオ株式会社

南紀白浜空港で育てたホップでビール醸造 2025年版空港ビールの名前とラベルデザイン決定

「空港型地方創生」をコンセプトに掲げ、紀南地域の活性化を手掛ける株式会社南紀白浜エアポートと、グリーンインフラ技術による都市基盤整備や賑わい・コミュニティ創出など新たなまちづくりを行う東邦レオ株式会社は、紀南地域の関係人口増加および、地域活性化をめざして2021年7月16日に南紀白浜空港サンクスホッププロジェクトを始動しました。両社は南紀白浜空港のエントランスにて、住民交流・地域活性の契機を生み出すべく、ホップ栽培に取り組んでまいりました。

4年目となる2025年版の空港ビールの名前とラベルデザインを一般公募とし、名前を2024年11月25日～12月25日、ラベルのデザインを2025年1月25日～2月21日に実施した結果、名前は618件、ラベルデザインは65件の応募があり、以下の通り決定しました。

【ビールの名前】

最優秀賞（採用決定）

応募者 橋本孝幸様（大分県在住）

空舞 ～SORAMAI～

～作者が名前に込めた想い～

空港で育てたホップを使ったビール、飲むたびに南紀白浜の青い空に舞い上がるような気分になって欲しいと思い名付けました。

～作者の南紀白浜に関連するエピソード～

南紀白浜、残念ながら訪れた事はありませんが日本有数の温泉地、温暖な気候、等々、私の暮らす大分と通じる点が多く、以前から親しみを感じておりました。同時に訪れてみたい土地の一つです。

今回、縁の生まれた南紀白浜、いつか訪れた際には空港ビールを飲み、温泉、観光、などを楽しみたいと思います。

【ビールのラベルデザイン】

最優秀賞ラベル（採用決定）

応募者 原 絵里奈様（兵庫県在住）



～作者がラベルデザインに込めた思い～

南紀白浜の名所・白良浜と円月島を軽やかな雰囲気でもとめたデザインです。空港に降り立った時のわくわくするような気持ちや旅立つときの名残惜しく、でも爽やかな心持をデザインに落とし込みました。

～作者の南紀白浜に関連するエピソード～

私が生まれ育った実家には七五三や結婚式など家族写真が多く飾られています。一番記憶に残っているのは若かりし頃の両親が円月島の前で真っ白なフェアレディZを止め、肩を組んで微笑んでいる写真です。子どもながらになぜかこの写真がお気に入りでした。今回のラベルをデザインする際、円月島の風景を目にして、その淡い記憶を思い出しました。私自身、数回南紀白浜には遊びに来ているものの円月島はなじみのないままでした。せっかくですので、そちらへ赴く際、自分の家族でその同じポーズを再現してこようと思います。

ビールの仕込みは2月7日にナギサビールにて実施しました。南紀白浜空港で収穫したホップと東邦レオ(株)の運営により奈良県平群町の休耕田を活用して育てられえたホップを合わせて総量4kgの冷凍保存されたフレッシュホップを粉碎して醸造タンクに投入し、ビールの香り付けを行いました。ビールの仕込み量は330ml瓶3000本になります。3月16日には南紀白浜空港にてビールのお披露目イベントを実施する予定で、その場でもビールを販売します。それ以降はナギサビールはじめ、地域の売店、飲食店で販売します。

4月以降は翌年のビール醸造に向けたホップの植え込みがスタートします。南紀白浜空港のほか、地域各地にホップの栽培場所を増やして、紀南地域の方々、地元の企業、生産者、行政機関など、様々なステークホルダーを巻き込んだ関係づくりに発展させて行く予定です。



【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社南紀白浜エアポート 広報・マーケティング

TEL : 0739-43-0095 E-mail : travel@nsap.co.jp

東邦レオ株式会社 サステナブル事業本部 担当：喜多

TEL : 06-6762-2100 E-mail : s_kita@toho-leo.co.jp